

## 医学研究実習生等による学会発表・論文発表

(2011年以降 新潟大学医学部 神経解剖学)

### 学会等発表

#### 目黒雄大さん

「運動ニューロンにおける新規 *Olig2* 結合因子欠損マウスの表現型解析」

第125回日本解剖学会総会・全国学術集会（山口）2020.3.25.-27.

「運動ニューロンにおける新規 *Olig2* 結合因子欠損マウスの表現型解析」

2019年度東日本リトリート 2019.8.19-20. ポスター発表

#### 栗山桃奈さん

「単純性表皮水疱症モデルとしての新規 *Dystonin/Bpag1* 遺伝子変異マウスの解析」

第123回日本解剖学会総会・全国学術集会（東京）2018.3.28.-30. 口頭発表

第6回有壬記念医学生研究奨励賞 2018.7.3.

#### 降旗敏熙さん

「*Dystonin* 遺伝子変異マウスにおける腎病変の組織学的解析」

第123回日本解剖学会総会・全国学術集会（東京）2018.3.28.-30. 口頭発表

第6回有壬記念医学生研究奨励賞 2018.7.3.

#### 栗田菜花さん

「マウスとニワトリ間での、視神経オリゴデンドロサイトの起源の違いはなぜ生じるか」

京都府立医科大学 生物学教室（小野勝彦教授）にて医学研究実習

第123回日本解剖学会総会・全国学術集会（東京）2018.3.28.-30. 口頭発表

学生セッション 優秀発表賞受賞 2018.3.29.

第6回有壬記念医学生研究奨励賞 2018.7.3.

#### 松岡崇史さん

「オリゴデンドロサイト最終分化におけるミエリン形成機構の解析」

第122回日本解剖学会総会・全国学術集会（長崎）2017.3.28.-30. ポスター発表

第5回有壬記念医学生研究奨励賞 2017.7.

#### 染谷拓郎さん

「新規自然発症ジストニン変異マウスの神経系における異常ニューロフィラメントの分布解析」  
第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会（郡山）ポスター発表 2016.3.28-30.  
第 4 回有壬記念医学生研究奨励賞 2016.7.

#### 関詩織さん

「BACCS による細胞内 Ca<sup>2+</sup>シグナルの光操作と Ca<sup>2+</sup>濃度変動および細胞事象の同時イメージング」  
東京医科歯科大学 細胞生物学分野（中田隆夫教授）にて医学研究実習  
第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会（郡山）ポスター発表 2016.3.28-30.  
解剖学会優秀ポスター賞 2017.3.  
第 4 回有壬記念医学生研究奨励賞 2016.7.

#### 斎藤慶介さん

「新規自然発症ジストニン変異マウスの同定」  
第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会（神戸）ポスター発表 2015.3.21-23.  
第 3 回有壬記念医学生研究奨励 2015.7.

#### 梨本淳一郎さん

「*dystonin* 遺伝子改変ジストニアモデルマウスにおける脊髄後索および中脳黒質ニューロンの定量化」  
第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会（宇都宮）ポスター発表 2014.3.27-29.  
第 2 回有壬記念医学生研究奨励 2014.7.

#### 佐藤和彦さん

「in situ hybridization 法を用いたヒト病理切片におけるニューロンおよびグリア細胞種の同定」  
第 118 回日本解剖学会総会・全国学術集会（高松）ポスター発表 2013.3.28-30.  
第 1 回有壬記念医学生研究奨励 2013.7.

## 論文発表

栗山桃奈さん（共著者）

Diverse dystonin gene mutations cause distinct patterns of Dst isoform deficiency and phenotypic heterogeneity in dystonia musculorum mice.

Yoshioka N, Kabata Y, Kuriyama M, Bizen N, Zhou L, Tran MD, Yano M, Yoshiki A, Ushiki T, Sproule TJ, Abe R, Takebayashi H.

**Disease Models & Mechanisms** 13: dmm041608, 2020.

栗田菜花さん（筆頭著者）

視神経オリゴデンドロサイトの起源とマウスとニワトリでの種差

小野勝彦、富永洋之、栗田菜花、後藤仁志、野村真

**Studia Humana et Naturalia** 51: 51-60, 2018.

栗山桃奈さん（筆頭著者）

単純性表皮水疱症モデルとしての新規 Dystonin/Bpag1 遺伝子変異マウスの解析

栗山桃奈、吉岡望、加畑雄大、牛木辰男、吉木淳、Thomas J Sproule、阿部理一郎、竹林浩秀

**新潟医学会雑誌** 131: 655-663, 2017.

酒井知史さん（Acknowledgement [謝辞] に掲載）

Motoneuron degeneration in the trigeminal motor nucleus innervating masseter muscle in dystonia musculorum mice.

Hossain MI, Horie M, Yoshioka N, Kurose M, Yamamura K, Takebayashi H.

**Neurochem Int** 119: 159-170, 2018.

斎藤慶介さん、染谷拓郎さん（共著者）

Characterization of novel dystonia musculorum mutant mice: implications for central nervous system abnormality.

Horie M, Mekada K, Sano H, Kikkawa Y, Chiken S, Someya T, Saito K, Hossain MD, Nameta M, Abe K, Sakimura K, Ono K, Nambu A, Yoshiki A, Takebayashi H.

**Neurobiol Dis** 96: 271-283, 2016.

川井洋輔さん（Acknowledgement [謝辞] に掲載）

A novel mouse model of subcortical infarcts with dementia.

Hattori Y, Enmi J, Kitamura A, Yamamoto Y, Saito S, Takahashi Y, Iguchi S, Tsuji M, Yamahara K, Nagatsuka K,

Iida H, Ihara M.

**J Neurosci** 35: 3915-3928, 2015.

佐藤和彦君さん（筆頭著者）

ヒト脳病理切片における in situ hybridization 法を利用したニューロンおよびグリア細胞の同定

佐藤和彦、堀江正男、竹林浩秀、高橋均、柿田明美

**新潟医学会雑誌** 128: 625-634, 2014.

梨本淳一郎さん（共著者）

Disruption of actin-binding domain-containing dystonin protein causes dystonia musculorum in mice.

Horie M, Watanabe K, Bepari AK, Nashimoto J, Araki K, Sano H, Chiken S, Nambu A, Ono K, Ikenaka K, Kakita K, Yamamura K, Takebayashi H.

**Eur J Neurosci** 40: 3458-3471, 2014.

石田奈々さん（共著者）

Neuroanatomical study on the tecto-supragenulate-dorsal auditory cortex pathway in the rat.

Horie M, Meguro R, Hoshino K, Ishida N, Norita M.

**Neuroscience** 228: 382-394, 2013.